



宝永小だより

No.16

福井市宝永小学校

令和7年11月6日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

5年生 「食品ロス削減」からSDGsを考える 10月15日(水)

総合的な学習の時間に、

SDGsについて学習を進めている子どもたちは、この日、「ロスが減る 地球にやさしい野菜定期便『ロスヘル』」の社員2名をお招きし、食品ロス削減についてお話を伺いました。「ロスヘル」は、傷や不揃いが理由で「規格外野菜」と呼ばれる、個性ある野菜や果物を詰め合わせにしてお届けする、定期宅配サービス企業です。

子どもたちはゲストティーチャーから、地球上で温暖化が進んでおり、今のままだと50年後には、食文化が崩壊し、難民が激増して、さまざまな活動時間が縮小される社会になることを学びました。さらに、「食品ロス削減」が日常的にできる地球温暖化対策の一つになることを知り、子どもたちはその後の話に興味深く聴き入っていました。食品ロスは1年間に、学校の教室の広さで2,500個分の量になることも知り、子どもたちは驚いていました。特に、「ロスヘル」では15種類の野菜を、月に60～80トンも買い取って、その野菜を1週間に2,000箱も配送していることで、食品ロスを削減し、環境保護に貢献しているなど、SDGs支援の具体を伺うことができました。子どもたちにとって、自分自身が「食品ロス削減」のために何ができるのだろうか、とじっくり考える機会になりました。



<食品ロス削減について話を聴く>

5年生 「交通安全」からSDGsを考える 10月21日(火)

先週に引き続き、子どもたちは、

SDGsの『住みよい社会』の視点から交通安全について考えるため、総合的な学習の時間に福井署交通二課の署員の方をお招きし、お話を伺いました。

子どもたちは初めに、福井県内の交通事故の状況について説明を受けました。福井県では令和7年に交通事故で23人の方が亡くなっており、すでに令和6年の総数に達していることを知らされました。さらに、死亡事故では高齢者の割合が高いこと、夜間の死亡事故発生率が高いこと、シートベルトを着用していなかったことによる死亡があること、福井署管内では4件の交通死亡事故が起きていることなどを学びました。加えて、宝永地区では108件の交通事故が発生しており、死亡者は0人、重傷者は3人であることもわかりました。子どもたちは身近で起きている交通事故の状況を具体的に知り、宝永地区に住んでいる方々へどのように働きかけたらよい



<福井県の交通安全について話を聴く>

のか、を思案する必要があると感じていたようです。

その後、子どもたちが興味・関心を持っていた『信号機のない横断歩道で、歩行者が横断しようとしている場合、必ず一時停止して歩行者に道を譲る義務を、自動車の運転手がどのくらい守れているのか』について、教えていただきました。実際に福井県では3台に1台しか止まらないこと、義務違反をした場合は違反点数2点と罰金9,000円が科せられることを伝えられ、歩行者は横断歩道を渡った後に礼をする『横断アクション・ペコリン運動』の推進に福井県が取り組んでいることも付け加えられました。子どもたちは宝永地区に『横断アクション・ペコリン運動』を広めていくにはどうしたらよいのか、という課題に直面し、今後の活動で解決案を検討していくことになりました。

1年生 初めて絵の具を使いました 10月22日(水)

図画

工作の時間に、入学してから初めて、絵の具で絵を描きました。子どもたちは一人一人、思い思いの風船を、画用紙にたくさん描いていきました。赤い風船、青い風船、黄色い風船、水色の風船、ピンクの風船など、様々な色の風船ができあがりました。子どもたちは色を混ぜ合わせてできた色で風船を描くことも楽しみました。また、丸い風船、細長い風船、菱形の風船など形も色々ありました。子どもたちの発想は、本当に豊かでした。



<思い思いの風船を描きました>

2年生 さつまいも掘りを楽しむ 10月22日(水)

5月下旬から畑で育てていたさつまいもが大きくなり、生活科の時間に収穫をしました。子どもたちはさつまいもの蔓をたよりに、素手や移植ごてを使って土を掘り起こし、さつまいもを探していきました。大きなさつまいも、小さなさつまいも、三つほどがくっつき合ったさつまいもなど、様々な大きさや形をしたさつまいもが畑の中から山のように出てきました。子どもたちは自分で掘り起こしたさつまいもを見せ合いながら、さつまいも掘りを楽しみました。後日、収穫したさつまいもを使って「おいもクッキング」を行う予定です。



＜次々と、さつまいもが出てきました＞

5年生 トヨタオンライン授業に臨む 10月22日(水)



＜ナビゲーターの方に、質問する様子＞

社会科の学習『自動車をつくる工業』の一環で、トヨタオンライン授業に取り組みました。トヨタのスタッフの方がナビゲーターとなって、動画を再生したり質問コーナーを進行したりしました。子どもたちはトヨタ自動車について、クルマの生産について、まちがえなくふう・働きやすいふう・高い品質をたもつくふうについて、トヨタが取り組むSDGsについてなどの動画を見ながら、テキストにメモを取っていきました。最後に、1組・2組のそれぞれ2名ずつが、ナビゲーターの方に質問をしました。子どもたちは福井で見ることでできない自動車の生産ラインを動画で確認したり、そこで働く人の声を聞いたりすることができ、よい追体験となりました。

後期委員会 活動紹介 10月23日(木)

にこフレ集会の際に、5・6年生の子どもたちが後期委員会の活動紹介をしました。子どもたちは、緊張しながらも、各委員会のめあてと活動内容を下級生に具体的にわかりやすく伝え、自分の思いや意気込みを語りました。後期の委員会は、6年生から5年生へのバトンを引き継ぐ重要な役割も担っています。委員会活動を通して、子どもたちのさらなる成長が楽しみです。

委員会のポスターは、現在、体育館横の掲示板上に掲示してあります。



＜委員会紹介の様子＞

委員会	めあて	活動内容
企画・生活	・みんなが笑顔になれるような大きな声であいさつをしよう。 ・他の学年と仲を深め、みんなが楽しく元気になるような企画を提案しよう。	・全校朝礼の司会・進行 ・にこフレ集会の企画・進行 ・行事の司会・進行
保健・運動	寒さに負けずに、かぜをひかないように、運動、手洗い、うがいをするように呼びかける	【保健】 ・石けんの補充・換気当番 ・学校保健委員会 【運動】 ・竹馬・一輪車・ボールの後片付けの呼びかけ ・ボールかごの設置 ・動画作成
環境	1人1人がおもいやりの心をもち、みんなが快適にすごせる学校にしよう。	・毎週の金曜日にゴミを出す ・ゴミ箱の中身を倉庫に持っていく ・そうじ場所の点検
図書	1人1人が本を読む習慣を身につけられるような楽しい企画を考えよう。	・新聞の取り換え ・本の整頓 ・パソコンの電源を入れる ・読み聞かせ会の司会・進行
放送・文化	聞いている人が元気になるようなおもしろい企画を考えて放送しよう。	・1日の学校の放送 ・情報モラル説明
		・本の貸し出しと返却 ・窓開け ・読書月間 ・番組制作 ・人権集会の進行

*10月22日(水)に、福井署の生活安全課と連携して、不審者対応訓練を実施しました。元警察官の方が不審者役で来校し校内に侵入したところ、不審者役を校舎外へ追い出すことに失敗して校内を徘徊したため、複数の教職員で身柄を確保し警察に引き渡すまでの訓練を行いました。その間、子どもたちは教室で授業者の教員と一緒に、学校で決められている約束事を守って、身を潜めました。その様子は人の気配を感じることなくひっそりとしていたため、警察の方から褒められました。最後は、複数の教職員がさすまたを使って不審者役の身柄を確保し、無事、訓練は終了しました。学校は、普段から1階外回りの施錠を徹底することや来校者へ厳格に対応することで、不審者の侵入を許さない体制を保持していくよう努めてまいります。

*今年度の卒業証書授与式は、令和8年3月10日(火)に挙行されます。